

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルファクトリー稲毛海岸			
○保護者評価実施期間	7年 1月 31日 ～ 7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名 (20家庭)	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	7年 1月 31日 ～ 7年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用を長く続けていただけている方が多く 利用児童も環境に対して慣れていたいている 部分が多い	施設内の時間のルーティーンをわかりやすく また児童主体で活動時間も多く取っている	利用者毎にわかりやすさのレベルを検討し、 難易度などを徐々に上げていくようにする
2	自立を目的とした声掛けや次にステップ上がれ るような支援を行っている	個々のレベルに合わせて対応内容を変え 児童主体で動けるような環境を整えている	提供内容の幅をさらに広げる
3	開設から約12年経っており、中学校や高校及 び高校卒業後の流れを保護者に伝えられる情報 量がある	同じ法人内でも情報共有を行うことでより 広い範囲で情報を集めている	法人だけでなく外部からの情報なども保護者 にお伝えする

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設での活動内容などを 保護者の方にすべてを 伝えきれていない	連絡帳などの日々のやり取り以外での 活動の報告書の提供	面談だけでなく、 送迎時などに普段よりも時間を取り その日や今後の支援について話す時間を設ける
2	利用保護者さんに対しての支援や ペアレントトレーニングなどが行えていない	対保護者さん向けの研修や交流の機会が少ない	保護者会などを行い、活動の報告だけでなく 様々な情報を保護者の方に伝えていく
3	保護者の方同士のつながりの場が少ない	保護者会などの場の提供が出来ていない	令和7年度内に保護者会の開催を行う

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルファクトリー稲毛海岸

公表日 年月日

利用児童数 R7年2月28日

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	5				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		2	もっと職員数が多くてもいいのではないかと感じることもある	ご意見を踏まえ求人をかけ増員予定
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			職員の中で能力や対応への差を感じることがある	社内研修などを今後も行い、職員のスキルアップを図ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	1	4		
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	4	2		今後保護者様を対象とした研修会や意見交換会などを実施予定
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	4	5		今後保護者様を対象とした研修会や意見交換会などを実施予定
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		1		相談などの体制の整備を今後も行い保護者の方にも周知及び報告をさせていただく場を設定いたします
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		3		職員内での研修や定期的なマニュアルの見直しをしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		4		年2回避難訓練を行い、利用者さんにも参加していただいています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1		契約時に説明を行っていますが定期的な見直し＆周知を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		1		現在発生時に連絡を取るようにし、出来るだけ速やかに対応するように努力させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
スマイルファクトリー稲毛海岸		7年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定期的に見直しを行い その時の状況に合わせて変更をしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		適切な人数ではあるがさらに増員をする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的情報で児童にわかりやすくしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		仕切りやカーテンなどを 使用し個別利用が出来る環境を整えている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に打ち合わせなどを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表だけでなく面談などの際にも 意見を伺っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議などを定期的に行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者委員会の評価を今後受ける予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修委員会を設置し 定期的な研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		4月10月に計画書を更新し保護者へ公表	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に見直しを行い作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的に会議を行い検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報共有をし支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画書内に盛り込んでいる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議などを行い立案をしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に見直ししている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☐		営業日の利用者に関しては記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☐			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	☐			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	☐			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☐			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	☐		毎月1回予定表を提出していただき、確認している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	☐		系列児童発達支援事業所との連携をとっている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	☐		令和6年度に関しては卒業後利用予定施設の職員が見学に来たため対応を行った	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		☐		現在行えていないため今後連携をとる
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		☐		行事時に地域のコミュニティーセンターを利用する際のみになっている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		☐		時間等が合わず参加できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		日頃だけではなく定期的に面談を行い共通理解を得ている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐		契約時に行い、変更があった場合には別に報告している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☐			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	☐			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐		HP、Instagramなどにより発信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		視覚的・聴覚的に理解しやすい配慮を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		☐		現在行えていないが、今後企画をしていく

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者よりアセスメント用紙を提出いただいている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけでなく法人内でも会議を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置対応	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行い、定期的に会議をしている	